

〈シンポジウム開催概要〉

日時 … 二〇一八年一月二十七日（土） 十四時～十七時
場所 … 愛知大学豊橋キャンパス 記念会館三階小講堂
主催 … 愛知大学人文社会学研究所
後援 … 豊橋市

【登壇者】

横石 知二 氏（株式会社いろどり 代表取締役社長）
木村 修 氏（株式会社農村産業製作所 代表取締役）
岩崎 正弥 氏（愛知大学 地域政策学部教授、同学部長）

【コーディネーター】

内浦 有美 氏（株式会社うちうら 代表取締役社長）

へ登壇者プロフィールへ

※肩書等はいずれもシンポジウム開催時

横石 知二

(よこいし・ともじ)



株式会社いろどり・代表取締役社長。
一九五八年、徳島市生まれ。七九年に徳島県農業大学校を卒業後、同年に徳島県上勝町農業協同組合へ営農指導員として入社。八六年につまもの商品の「彩」を開発・販売し、九一年特産品開発室長に就任。山の資源を生かした商品開発で

全国的な注目を浴びる。九六年四月上勝町役場産業課に転籍、九九年「株式会社いろどり」を設立し責任者として「彩」をはじめ特産品の企画販売を行う。同時に高齢者が使える情報ネットワークシステムを開発。二〇〇二年に役場を退職、株式会社いろどり取締役に就任、〇五年代表取締役副社長、〇九年代表取締役社長に就任。「カンブリア宮殿」「ガイアの夜明け」等国内・海外の数々のメディアが取材・特集。〇七年ニューズウィーク日本版「世界を変える社会起業家」〇〇人が選出。一二年映画「人生いろいろ」が全国上映。

木村 修

(きむら・おさむ)



伊賀の里モクモク手づくりファーム・
創業者。現、株式会社農村産業製作所・
代表取締役。

一九八七年、三重県伊賀市山麓に自
然・農業・食農学習をテーマにした農業
公園「伊賀の里モクモク手づくりファ
ーム」を作り上げる。たった一人の船出だ
った。「脱・既成農業」の名の元ユニ
クな手法と情熱で、二十五年間で従業員
三百五十名、年商五十億円に到達、農業
界で「モクモク」の名を知らないものは
いない、という規模まで育てた。人口八
千人程度の旧阿山町（現・伊賀市）に、
年間五十万人の観光客が訪れる。
二〇〇三年、農業の六次産業化の実践
と雇用の場の創出、地域の農業者とのネ
ットワーク化を図ったとして、「地域お
こしに燃える人」を受賞。

岩崎 正弥

（いわさき・まさや）



愛知大学地域政策学部教授、地域政策
学部長。

一九六一年、静岡県生まれ。九五年京
都大学大学院修了（農学博士）。九六年
愛知大学経済学部専任講師、以後、助教
授、教授を経て二〇一一年地域政策学部
教授。一七年四月より学部長。専門は農
業思想、農村社会史、農山村振興。著書
として『農本思想の社会史』、『食の共
同体』（共著）、『場の教育』（共著）
等がある。この数年は奥三河、南信州の
過疎地域づくりに関して、学生と一緒に
調査研究、活動支援に関わるとともに、
移住者（外部人材）の地域振興に果たす

意味に関心をもち、新しいライフスタイルや価値観、新たなコミュニティのありかたについて考えている。

内浦 有美

（うちうら・ゆみ）



株式会社うちうら（ばったり堂）代表取締役社長。愛知大学総合郷土研究所・中部地方産業研究所研究員。

一九七九年豊橋市生まれ。名古屋大学教育学部卒。企業勤務を経て二〇〇七年に独立。リクルート・ワークス研究所客員研究員（「キャリア教育の評価」論文上梓）や経済産業省キャリア教育事業の

評価研究員を担当後、一〇年に株式会社うちうらを設立。徳島県上勝町へ活動拠点を拡大、自治体や企業と協働しながら地域ビジネスや暮らしに関心のある全国の若者を地域に呼び込む事業を展開。内閣府「地域社会雇用創造事業」で株式会社いろどり、モクモク手づくりファーム等、四地域連携人材育成事業のコーディネートを企画・実践。豊橋では一二年に「ばったり堂」を開堂。「豊橋妖怪パン祭り」の開催や『豊橋妖怪百物語』を上梓している。

